

## 第3回 豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：平成26年12月5日（金）午前9時00分～12時00分

場 所：豊明市役所本庁舎 東館3階 教育委員会室

出席者：浅井委員、成田委員、三浦委員、相場委員、村野委員、佐野委員、鈴木兼幸、  
近藤委員

事務局：市野教育長、樋口生涯学習課長、馬場課長補佐、酒井社会教育指導員、岸田  
専門員

傍聴人：中村智子

### 1 委員長あいさつ

### 2 協議事項

#### (1) 古民家調査の所見について

8月20日に県担当者及び専門家の立会いで行われた4件の調査について、たばこ乾燥小屋は産業遺産として価値があり、まずは市の指定として残していくべきである。阿野公会堂についても文化的資産として残していく方向で考えたい。

民家については、建物としての価値は高いが所有者の意向もあり、様子を見る必要がある。

国や市の指定にする場合の、それぞれの手続きを含め、継続内容について次回に協議することとする。

### 3 研修

#### (1) 市史編纂室事業及び研修（桶狭間の戦い）について

講師：社会教育指導員 酒井喜久乃

- ・今後、歴史民俗資料室常設展で桶狭間戦いのコーナーをとりあげていくためには、諸説ある中で、共通理解の上、展示を変えていかなければならない。文献以外の文化財だより等も参考としたい。
- ・450周年の企画展をベースにした形で業者委託による展示を行うべきである。
- ・諸説あるなかで豊明を国指定とした根拠について国に確認できるとよい。
- ・桶狭間の戦いを考える上で、各文献の都合のよい所のみ参考にするやり方は避けなければならない。

### 4 その他

#### (1) 勉強会について

- ・内容は委員長と事務局と協議の上で決めていく

#### (2) 二村山自然観察会からの要望について

- ・複数の要望により、次回会議の議題として上げていく方向で考える。

#### (3) 事業報告

#### (4) 次年度企画展の計画（場所・時間）について

- ・具体的な日時と場所については歴史民俗資料調査研究会で連絡する。

次回文化財保護委員会 平成27年3月13日（金）10時から